

先進的な事例等収集のための現地調査の進め方

1. 現地調査の進め方

(1) 現地調査の準備

福祉と防災との連携の確保について、先進的に取組を行っている市区町村（必要に応じて都道府県、社会福祉協議会等）を抽出し、調査対象地に即した調査項目を検討する。

(2) 現地調査の実施

先進的事例等を具体的に把握するため、検討会委員 2 名、事務局 2 名（うち内閣府 1 名）の計 4 名のグループで現地調査を実施し、当該市区町村（必要に応じて都道府県、社会福祉協議会等）の担当者にヒアリング調査を実施するとともに意見交換を行う。

(3) 現地調査の整理

調査結果は第 2 回検討会において報告するとともに、先進的事例等における取組のポイントや被災地における反省・教訓事項等を収集し、時系列的な要援護者避難支援活動のフローチャートとして整理する。

2. 全体スケジュール

(1) 第 1 回検討会

期 日：平成 18 年 7 月 27 日

検討内容：本検討の趣旨及び内容について
先進的な事例収集のための現地調査の進め方
調査項目と調査候補地について

(2) 第 2 回検討会

期 日：平成 18 年 11 月下旬

検討内容：現地調査結果の報告・分析について
時系列的な要援護者避難支援活動のフローチャートの検討
について

(3) 第 3 回検討会

期 日：平成 19 年 2 月上旬

検討内容：とりまとめの素案の報告・検討について

(4) 第 4 回検討会

期 日：平成 19 年 3 月上旬

検討内容：最終報告（案）について